

二宮公羽夜話

第7回 R.5 9/3 (水) 資料

天の巻 第二篇 天道と人道

七〇 p.109 獅子舞のあとあし

。人道とは、親の養育を受けてるを養育し、
師の教を受けてるを教へ、人の世話を
受けし人の世話をし、その人道なるなり。

日語 (書問第十四)

「原壤夷俟。子曰、幼而不孫弟、
長而无述焉、老而不死、
是为賊。以杖叩其胫。」
p.225

七一 p.110 人々の燈明台とされ

七二 p.112 人情を尽す

日語 (春伯第八)

「子曰、禹吾無間然也。菲飲食、
而致孝乎鬼神、惡衣服、
致孝乎鬼神、卑宮室、
而致孝乎鬼神、禹吾無間然也。」
p.108

七三、 p.113 罪を平らにする

すつて職務を執行する者は「JUSTICE」
平らに持とうと心かけるわよう。

七四、 p.113 文の道と改める

論語(陽南第一)(里仁第四)

「子曰、文在、^{セン}觀其志、^シ文没、^ズ觀其行、^ニ

(三年無^ク改^ム、^ハ於^テ文之道、^ハ可^ク謂^フ孝^ト矣。)

七五、 p.114 大名保出隣の失敗

(這 p.115 を参照)

p.115, p.116

七六、 p.115 一得あれば一失あり。一くわのせのちやん。

七七、 p.116 人道と殺生戒

日光漫筆に於ける「殺生戒」につきて。

中、孟子、梁惠王上篇「庖厨を遠^クシテ、

七八、 p.117 権量と法度

「議^ニ權量^ヲ、^シ審^ニ法度^ヲ、^シ脩^ニ廢官^ヲ、
p.308

四方之政行^ル焉^ク」

七九、 p.118 勢の過ちと引き起す

八〇、 p.119 酒宴の法

八一、 p.120 九と丸

「元日やうくろに近き大^キを、

くろしうと見^ル也^ト」